

ここにひまわりを...
広報誌 第94号
ひまわり

社会福祉法人 ひまわり 広報部発行 杵築市 ひまわり 検索
 0978-52-2233 0978-66-5500 http://www.wel-himawari.net

社会福祉法人ひまわり理念
 ・利用者の尊厳を守り、敬愛の精神で接すること
 ・地域福祉の拠点となり、開かれた施設として地域に貢献すること

基本方針
 ・利用者があるがまの姿を受け入れ、見守り、優しく安らぎのある施設にします
 ・利用者の意思を尊重し、利用者の立場で考え、安全で平等な援助に努めます
 ・地域の関係機関と連携し、地域福祉の推進と向上を目指します
 ・社会で通用する接遇を修得し、利用者明るく気持ちの良い態度で接します
 ・日々向上心を持って、専門機能の研鑽に努めます



作業療法士によるリハビリテーション

昨年12月から第一・第三土曜日に三楽園デイサービスにて作業療法士の後藤先生(新別府病院)による作業療法を実施して頂ける事になりました。

作業療法とは身体または精神に障害のある方に対して、生活していくために必要な動作(食事動作・整容動作・衣服の着脱・排泄動作・入浴動作など)や社会に適應するための能力の回復をめざし、治療をおこないます。その治療の手段の1つとして、様々な作業や手工芸を用いる事が特徴です。

日々の生活を明るく楽しく元気に過ごせるように三楽園職員と力を合わせ作業療法を実施しています。



理学療法士と作業療法士ってどこが違うの?という質問をよく頂きます。

簡単に説明しますと、「食事を一人でやりたいが、口までスプーンを持って来れない」といった場合に理学療法士はスプーンをしっかり握り口まで手がもつていけるように、筋力増強や関節の動きを良くする練習をします。それに対し作業療法士は実際にスプーンを使用して、食事の動作の訓練を行います。スプーンが握れないようであれば、握らなくても手から落ちないようなスプーンの形を考えます。

この様に、理学療法、作業療法について訓練の内容は違いますが、それぞれ組み合わせる事でより効果的な訓練が行えると考えております。

特別養護老人ホーム瑞雲荘介護

緑に囲まれた瑞雲荘で心温まる仕事をしませんか?



仕事内容：入居者の介護業務全般
資格：介護福祉士
時間：ローテーションによる交代制(夜勤あり)

〒879-0902
 杵築市大田沓掛2380番地
 特別養護老人ホーム瑞雲荘
 TEL/0978-66-5500
 担当：真田まで

楽しいスタッフ(イケメン)がお待ちしております!

訪問看護通信

きつき訪問看護ステーション

ヒートショックにご注意を

暦の上ではもう春ですが、まだまだ寒い日が続いていますね。この季節の入浴で毎年一万人以上の方が亡くなっているのをご存知ですか?

これは入浴による急激な温度変化で、血圧が急に上昇・下降することにより起こる体内のダメージ(ヒートショック)に伴い突然の意識消失や心筋梗塞、脳梗塞を引き起こすもので高齢者に多く見られるのも特徴です。

特に動脈硬化や生活習慣病(高血圧、糖尿病、高コレステロール等)、不整脈がある方、また飲酒直後や薬を飲んだ直後に入浴する方は要注意です。予防策として急に暖かい湯舟に入らず、かけ湯をしたり心臓に負担を掛けない様に半身浴にする事。また、浴室内と脱衣所の温度差があまりないようにし、湯の温度は四十一度位に設定します。さらに可能であれば、生活空間の全てを暖かくして運動、食事、飲酒直後の入浴は避ける等が挙げられます。生活の中で工夫をしながら、この冬を元気に乗り切りましょう。

木元

教えて!どんな資格?

今月の「教えて!どんな資格?」は精神保健福祉士を紹介します。この資格はいわゆる「精神科ソーシャルワーカー」と呼ばれる専門職の国家資格です。心に病を抱えた人がスムーズに生活を営めるように訓練や支援、社会参加支援の手助けや周囲との調整などを行う仕事です。「精神保健福祉士法」施行に伴って誕生し、「障害者自立支援法」が制定されて、医療・保健・福祉にまたがる精神保健福祉士の活躍の場がますます広がっています。ひまわりでは瑞雲荘の高尾生活相談員が取得しています。また高齢者の分野では平成27年度より特別養護老人ホームにおける障害者生活支援体制加算の基準にも名前が挙がっております。またドラマ「積木くずし」や「わらべ」の長女として活躍されていた女優高部知子さんも現在精神保健福祉士として活躍されています。

高尾生活相談員によると、「高齢期の心疾患として認知症だけでなく老年期うつや、双極性障害。またそれに伴う諸症状への理解が必要と感じ、この資格を取得しました。また近年、認知症高齢者の精神科病棟への入院が増加しており、認知症周辺症状が寛解した後も退院できずという現状があります。こういった方々への退院、介護保険施設入所支援を行っていききたいと思っております。」との事です。

編集後記

最近この「編集後記」の文字が小さくて読みにくいという意見を聞きます。要望にお応えして少し大きくしてみました。どうですか読みやすいですか?さて、以前このコーナーにも書きましたが私は「言い間違え」が大好きです。例えば芸能人名前しりとりをしてる時に友人が放った名前「やしたかじん」(やしきたかじん)等聞いた瞬間嬉しくてよだれが出てしまいます。そんな私にも言い間違いの神が君臨する事があります。コンビニで明太子パスタを買った際に店員さんに「フォークとお箸、どちらをお付けしますか?」と聞かれた際に考えました。「は?パスタを箸で食べるわけないじゃん!や、待てよ、コンビニのパスタなら箸で食べるのもありかな?そういえば、フォークに爪楊枝は付いてこないけど、箸には付いてくるしな。食後に明太子の粒が歯間に詰まったら、やっぱり爪楊枝要るよな...」と、思案する事3秒、私は店員さんにこう言いました。「じゃ、爪楊枝で」。また、学生時代にコンビニでバイトしてた頃の話、昼から何も食べず夜勤に入った私はお腹が空いていました。生命体として危機を感じる程です。お客さんがお弁当をレジに持ってきました。「温めますか?」と私。「お願いします」とお客さん。30秒後チンと温めが終了しました。温められた弁当からとても良い香りがしています。お弁当を袋に入れ、お客さんに言いました。「御馳走様でした」。「お待たせしました」と伝えつもりでした。これは言い間違いというよりはお腹が空きすぎて幻覚が見えていたのだと推測されます。ではまた来月。高尾

毎月二〇日発行 編集責任者 社会福祉法人ひまわり 高尾毅一



ひまわりハウスでは昼食前に口の体操を毎日行っています。舌を動かしたり首を動かしたりと食事を摂る際に必要となる飲み込みを唾液を出すことでスムーズに行え、ご飯がおいしくいただけるように実施しています。利用者様方より「これがないとご飯が出てきません」「ご飯前のお決まりでお口の体操をしないと昼食べて感じがしないわ」との言葉があります。今後、もっと利用者様に口腔体操の必要性をアピールするために職員も口腔ケアについてもより勉強し、皆様においしくご飯を食べていただくように努めていきたいと思っております。

ひまわりハウス

口の体操

平成27年度介護保険制度改正について

今年4月より介護保険制度、介護報酬について改正がございいます。内容としては地域包括ケアシステムの構築の重点化、効率化の為、全国一律の介護予防給付のうち訪問介護（ヘルパー）と通所介護（デイサービス）を市町村が取り組む地域支援事業に移行します。杵築市においても平成29年度までの完全移行までに段階的に移行していく予定です。また8月より保険料上昇をできる限り抑えるため、所得や資産のある人の利用者負担を見直します。65歳以上の介護保険被保険者のうち本人の合計所得金額が160万円以上あり、同一世帯の第一号被保険者の年金収入+その他の合計所得金額が単身で280万円以上、2人以上で346万円以上の場合、負担割合が現行の1割から2割に引き上げられます。例えば月に1万円で介護用ベッドをレンタルした場合に現在千円の負担で良いのですが、2割の負担になると2千円の手出しになります。さらに特定入所者介護サービス費の補給付の要件に資産等も追加されます。介護報酬改正については利用されているサービスによって異なりますので各事業所より随時説明を行います。介護保険制度、報酬改正についてご不明な点等ございましたら各事業所担当者までお問い合わせください。

節分行事

節分の日にひまわり各事業所にも鬼が現れました。特筆すべきはひまわりハウスに出没した黒鬼でしょう。民俗学的にも黒ずくめの鬼は珍しく目撃された方は幸運かも知れません。（嘘です）そして瑞雲荘に現れた鬼は、もはや高木 一さん扮する雷様にしか見えませんね。どの事業所の鬼も皆様の力で直ぐに退散したとの事です。



三楽園デイサービス

鍋パーティー

厳しい寒さが続く中、利用様に温まっていただくようと、毎年恒例の鍋パーティーが行われました。日替わりで様々な食材やつけダレを用意し、利用者様のお好みに合わせていただきました。また、ノンアルコールビールやジュースもお出し、皆様「おいしいな」「やっぱり鍋は温まるな」ととても喜んでいただき、何杯もおかわりされたりと大盛況でした。



きつきの里デイサービス

松栄保育園交流

1月28日に33名の松栄保育園の園児が元気よく来所されデイサービスの雰囲気のパーツと明るくなりました。先生の挨拶のあと4〜5人のグループ別に自己紹介と今日の日の為に練習してきた踊りや歌を一生懸命に披露してくれました。園児の踊りを利用者様は笑顔で見られ、あの子がウチの孫なんだと隣の利用者様に話される自慢げな笑顔が微笑ましく思われました。また、最後に手作りのしおりとクッキーのお土産を頂きました。えらしい園児の顔を思い浮かべながらおやつを食った時間にキーを食べました。楽しいひとときをありがとうございました。



瑞雲荘

誕生日会

2月生まれの4名の利用者様に喜んでいただくようと「叩いて被ってジャンケンポン大会」を開催しました。これはジャンケンを行い、勝った方がおもちのハンマーで相手の頭を叩き、負けた方は洗面器を頭に被り叩かれないようにするゲームです。利用者様 VS 職員、利用者様 VS 利用者様、職員 VS 職員と様々な対決が行われ、間違っただけの洗面器で相手を叩いたり珍プレーもありつつ大盛り上がりでした。

